

評価内容		評価区分	配点	提案書 頁番号	技術提案書作成 にあたっての留意事項
章	評価観点				
1 本業務の理解					
1.1	本業務の背景、目的	本業務の背景、目的、本受託事業者に求める業者姿勢(基本的な考え方、機構運用サイクル、関係事業者間の調整、情報セキュリティ対策等)に係るポイントが具体的に示されているか。	必須	-	
1.2	本業務の範囲	業務アプリケーション企画・開発、運用の業務範囲を、提案の全体像を把握できる内容が仕様を満たした形で示されているか。	必須	-	
1.3	本業務の進め方	本業務の完遂に向けて、具体的かつ実現可能性が高い事業計画(プロジェクト管理方法、想定される作業工程及び作業スケジュール、会議体の設置、懸念されるリスクとその対応策、成果物の内容等)が示されているか。	必須	-	
2 本業務の具体的な実現方法					
2.1 業務の実施方針					
2.1.1	業務の実施方針等	業務の実施方針について、業務の背景及び目的、更に期待されている効果について正しく理解されているか。	加点	30	業務の実施方針等に関する記述は2ページ以内としてください。 業務仕様書案に対する、本業務実施における基本方針及び業務実施方法を記述してください。
2.1.2		業務の実施方針について、発注者にとって有益な提案が示されているか。			
2.1.3		業務の実施方針について、調達仕様書に示された業務委託内容が、過不足なく、具体的に提案されており、且つ 実現可能なものとなっているか。			
2.1.4		本業務における追加改修及び運用保守に係る技術支援業務について正しく認識されているか。また、本業務実施の背景・目的を踏まえ、システムをサービスとして提供する企業として、サービス提供の基本的考え方、方針、取り組み姿勢及び他社と比較した優位性について説明できるか。	加点	40	
2.1.5		業務委託事業を確実に遂行できるだけの十分な業務実施体制(事業従事者の配置、機構との連絡体制など)を立案しているか。	加点	30	
2.1.6		各要員の役割および責任が明確かつ具体的に記載されているか。また代替要員が発生した場合アサインできるか。	加点	10	
3 受託事業者(社)に望まれる経験・能力等					
3.1 社の経験・能力等					
3.1.1	業務アプリケーション企画・開発、運用保守の実績	過去5年以内に基幹システムの業務アプリケーション企画・開発、運用保守等に関して、官公庁及びそれに準ずる機関における受注実績を有しているか。	加点	10	
3.1.2	類似業務の実績	過去5年以内に類似業務(金融機関における基幹システムの業務アプリケーション企画・開発、運用保守等)に係る受注実績を有しているか。	加点	10	当該業務に最も類似すると思われる実績(3件以内)を選び、その業務内容(事業内容、サービスの種類、業務規模等)や類似点を記載ください。特に、何が当該業務の実施に有用なのか簡潔に記述してください。
3.1.3	情報セキュリティ管理・対策実績	情報セキュリティ管理および対策実施業務に関し、過去5年間で3件以上の実績を有しているか。			
3.1.4	品質マネジメントシステムに係る認証	本業務の担当部署が、品質マネジメントシステムに係る規格(ISO9001)の認証を保持しているか。	加点	3	資格・認証を有する場合はその証明書の写しを提出願います。
3.1.5	情報セキュリティマネジメントシステムに係る認証	情報セキュリティマネジメントシステムに係る規格(ISO27001)の認証を保持している部署が、本業務の担当部署と連携する体制が組めることが示されているか。			「※行動計画策定・周知」 ・従業員が101人以上の企業には、行動計画の策定・届出、公表・周知が義務付けられている一方で、従業員が100人以下の企業には努力義務とされています。 ・行動計画策定後は、都道府県労働局に届け出る必要があります。 ・行動計画策定企業については、行動計画を公表および従業員へ周知した日付をもって行動計画の策定とみなすため、以下に類する書類をご提出ください。(計画期間が満了していない行動計画を策定している場合のみに限ります。) 一厚生労働省のウェブサイトや自社ホームページで公表した日付が分かる画面を印刷した書類 一社内イントラネット等で従業員へ周知した日付が分かる画面を印刷した書類
3.1.6	個人情報保護に係る認証	個人情報保護に関する認証(プライバシーマーク又は同等の認証)を保持しているか。			
3.1.7	ワークライフバランス等に係る資格・認証	以下の認証を1つでも有している。 ・女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定、プラチナえるぼし認定」のいずれかの認証 ・次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定、トライくるみん、プラチナくるみん認定」 ・若者雇用促進法に基づく「ユースエール認定」	加点	2	

4 業務実施体制					
4.1 業務実施体制					業務仕様書案に記載の業務全体を、どのような実施(管理)体制(直接業務に携わる業務従事者のみならず、組織として若しくは組織の外部のバックアップ体制を含む)、要員計画(業務に必要な業務従事者数、その構成、資格要件等)等で実施するか記述してください。
4.1.1	適切な実施体制	本業務の背景、目的、本受託事業者に求める業者姿勢に係る要件を満たした上で、本業務の実施体制及び各担当者の役割分担が示されているか。その実施体制は業務遂行上において適切な体制であるか。	必須	-	
4.2 業務従事者					業務総括者及び評価対象となる業務従事者の経験・能力等(類似業務の経験、実務経験及び学位、資格等)について記述願います。
4.2.1	リーダー	リーダーに従事する要員は、同等規模の金融勘定系システムの業務アプリケーション企画・開発及び運用保守に関する知識・経験・スキル、リーダー相当の役割の経験・実績を有しているか。	加点	20	類似業務の経験に関しては当該業務に類似すると考えられる業務経験の中から(現職含む)、業務総括者の業務内容として最も適切と考えられるものを3件まで選択し、類似する内容が具体的に分かるよう最近のものから時系列順に記述してください。
4.2.2	メンバー	メンバーに従事する要員は、同等規模の金融勘定系システムの業務アプリケーション企画・開発及び運用保守に関する知識・経験・スキルを有しているか。	加点	25	
4.2.3	プレゼン内容	的確かつ効果的な説明がなされているか。	必須	20	
		質問に対し、的確に回答しているか。発注者とコミュニケーションがとれているか。			
				200	